記者発表資料

がんばろう！東北

平成２９年２月２７日

仙台河川国道事務所

東日本大震災で被災した阿武隈川河口部河川堤防の復旧・復興事業が完成します

～仙台湾南部海岸堤防と一丸となった地域の津波防災体制が更に前進～

東日本大震災で被災した阿武隈川の新浜水門や河口部河川堤防など、河川管理施設の復旧を震災直後から進めてまいりました。震災から約６年経過した**平成２９年３月末に河口部河川堤防については一連区間で計画の高さであるＴ．Ｐ．※＋７．２ｍを確保、新浜水門については完成する見通し**となり、仙台湾南部海岸堤防と一丸となった地域の津波防災体制が更に前進することとなります。

これに先立ち、岩沼市、亘理町、国土交通省東北地方整備局の主催により「**阿武隈川河口部復旧・復興事業完成式」を３月４日に開催**する予定です。

※T.P.：東京湾の平均の海面高さを基準面として表した高さであり、一般的に標高などに用いられている。

【整備により期待される効果（想定）】〔資料－２〕

◆整備した河川堤防高さ相当（約７ｍ）の津波に対する効果（岩沼市、亘理町分）

整備前：津波による浸水面積 約３，７００ｈａ

↓

整備後：津波による浸水面積 ０ｈａ

〔ご注意〕

この整備効果は、今回整備した河川堤防の高さ相当の津波に対する効果であり、東日本大震災クラスの津波に対する効果ではありません。

【阿武隈川河口部復旧・復興事業完成式について】

◆実施日時　平成２９年３月４日（土）　１１：００～（１時間程度）

◆会　　場　岩沼市民会館（宮城県岩沼市里の杜一丁目2-45）

◆主　　催　岩沼市、亘理町、国土交通省東北地方整備局

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

お問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所

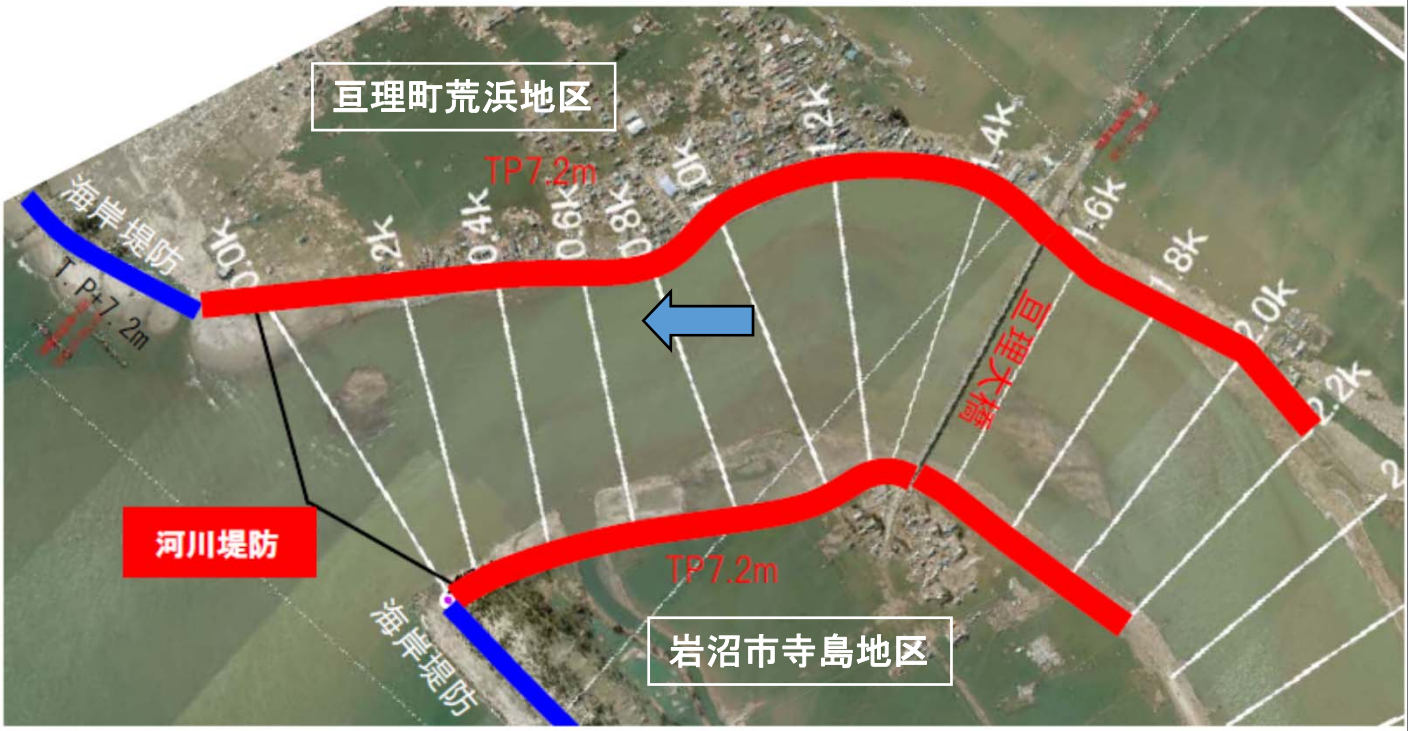
仙台市太白区あすと長町４－１－６０

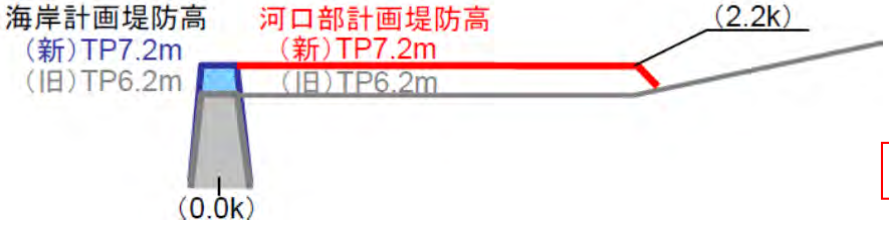
電話：０２２－２４８－４１３１（代表）

副所長（河川担当）　高橋（たかはし）　長幸（ながゆき）（内線２０４）

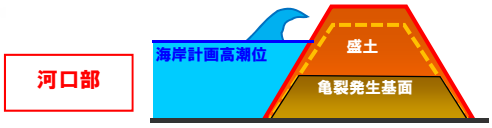
阿武隈川河口部の河川堤防復旧

資料－1－1

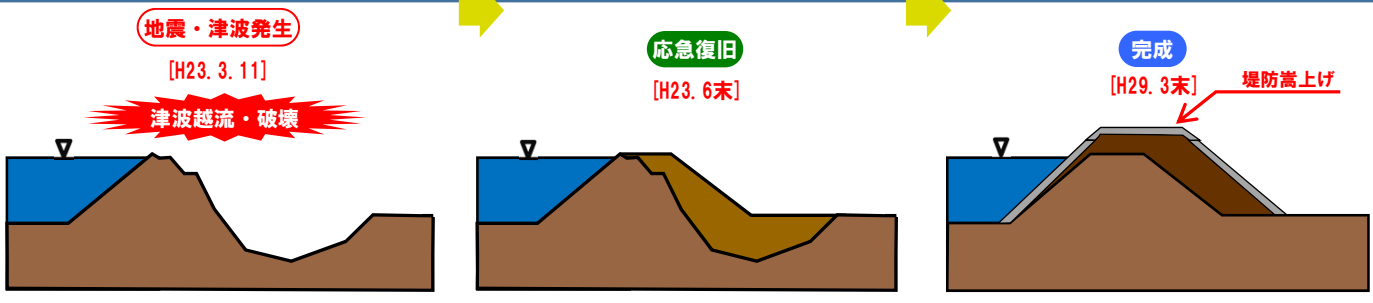




高潮に対応した堤防整備



■復旧までの流れ



従前の堤防の高さまで復旧

地域の復興計画と整合を図り、海岸堤防と一連となって効果を発揮するような河川堤防を整備

地震・津波発生



応急復旧



完成



阿武隈川荒浜地区の例

河口部堤防構造の考え方

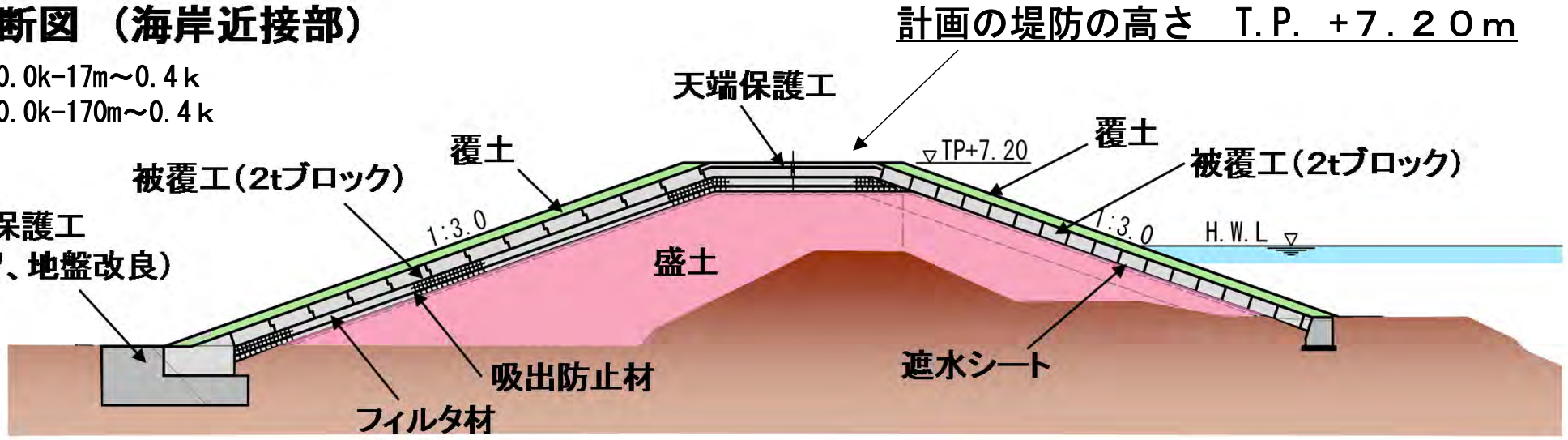
資料－1－2

●設計値を超える巨大な津波が来襲しても堤防が決壊するまでの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防をコンクリートブロックで被覆する構造を採用しています。

●この構造により、嵩上げされた道路などと併せて、津波に対する多重防御とし、浸水被害を軽減します。

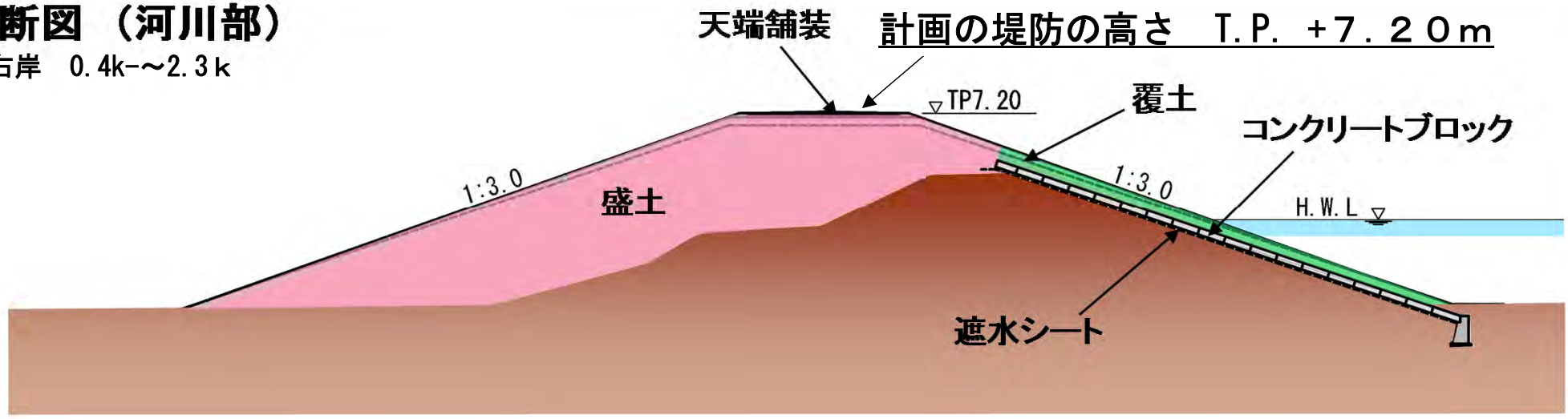
標準横断図 （海岸近接部）

左岸　0.0k-17m～0.4ｋ
右岸　0.0k-170m～0.4ｋ



標準横断図 （河川部）

左岸・右岸　0.4k-～2.3ｋ



がんばろう！東北

阿武隈川河口部復旧・復興事業の完成

資料－1－3

H29.2月末 堤防盛土着手済 約５km　100%
うち堤防盛土完了済　約96%
H29.3月末 一連区間で計画の高さを確保
一部の工事に関しては、平成29年度に完成予定

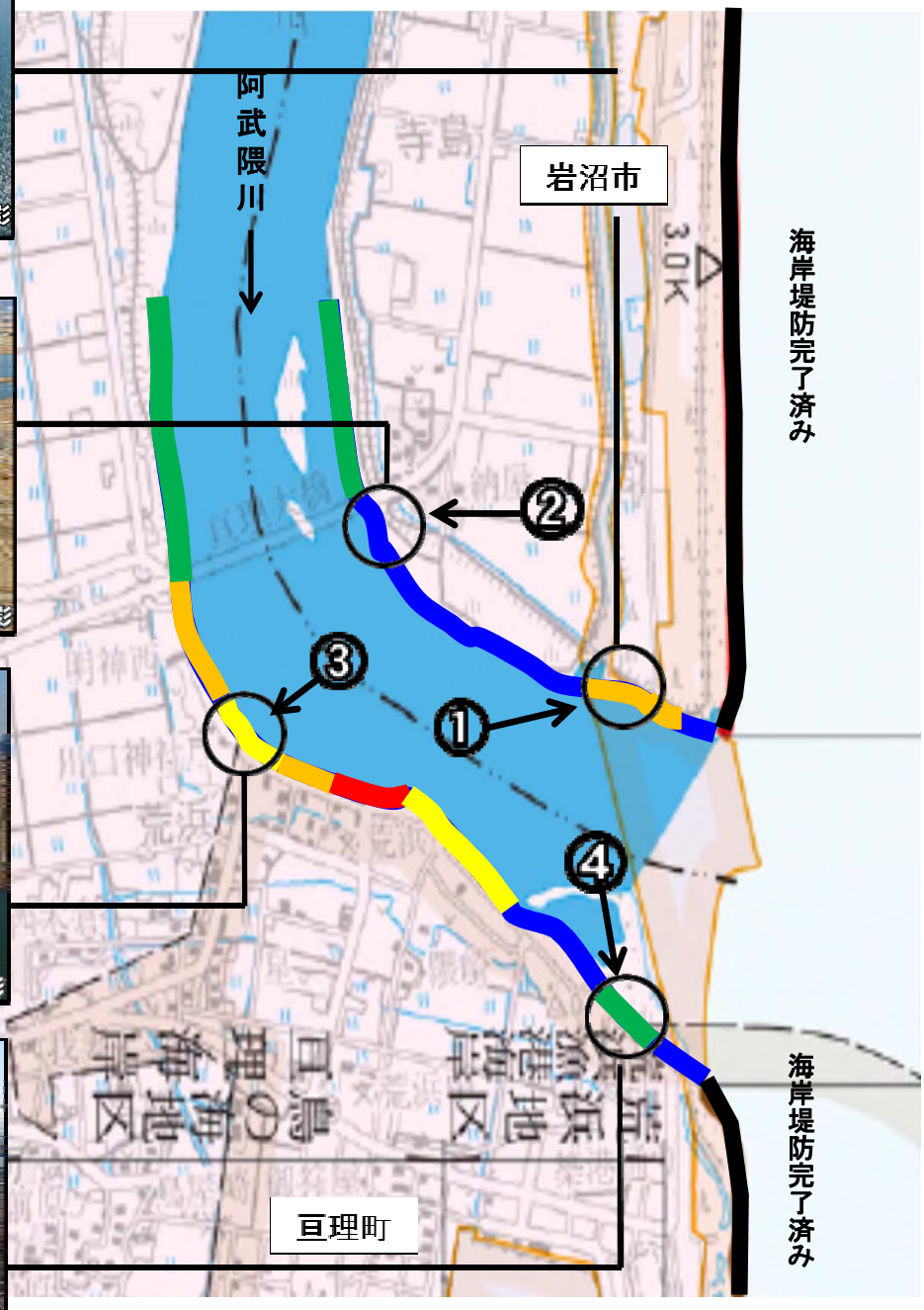
《 凡 例 》
- H26年3月末完了区間
- H27年3月末完了区間
- H28年3月末完了区間
- H29年2月末完了区間
- H29年2月末施工中区間











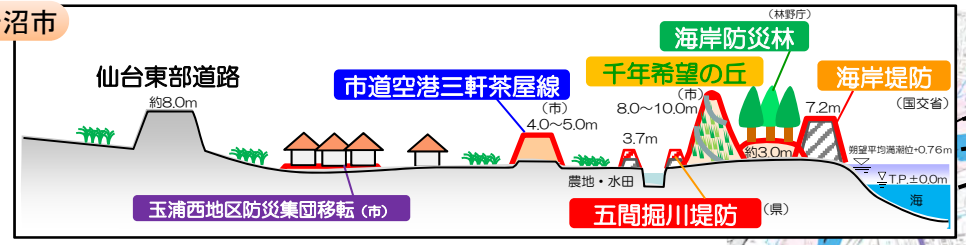
国土交通省　東北地方整備局

多重防御に向けた関連施設の整備

資料－1－4

多重防御の実現にむけて、各関係機関が一体となって施設整備を推進しています

岩沼市

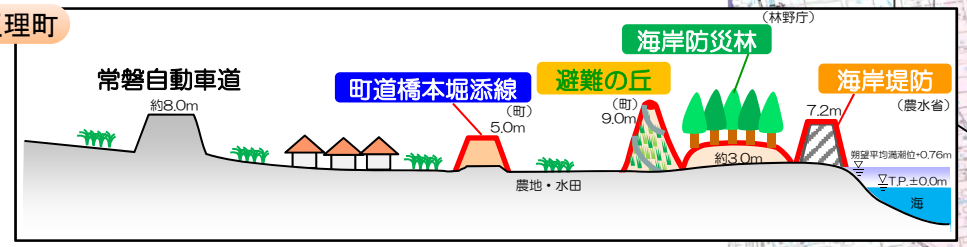


※赤線で形状を表した施設が震災後に新たに整備した多重防御関連の施設です





亘理町



※赤線で形状を表した施設が震災後に新たに整備した多重防御関連の施設です





阿武隈川河口部における多重防御施設の配置



東日本大震災から約６年　着実に進む復旧・復興！［岩沼市　H28.10末現在］

資料－１－５

東日本大震災から6年が経過し、岩沼市では被災した地域において、多重防御による減災機能の強化を柱として、国や県・市、民間事業者などが一体となり、様々な「復興まちづくり」が着実に進捗しています。

安全なくらしの確保

◆防災集団移転地、復興公営住宅が整備され順次入居開始
（平成26年より入居開始、平成27年3月完成）

◆住民のくらしを支える南浜中央病院、東部環境センター、浄化センター等の復旧・再開
（平成24年より順次再開）





農業の再生と多角化

◆被災農地のがれき撤去、除塩、ほ場整備等により営農再開
（平成24年より順次営農再開）

◆早期営農再開のため農業復興総合支援事業によりライスセンター4地区、育苗施設・ハウス、農業機械等を整備　（平成26年度完了）





空港中心の産業復興

◆新たに市及び県による産業、工業用地の基盤整備、分譲開始
（臨空西原工業団地、仙台空港ﾌﾛﾝﾃｨｱﾊﾟｰｸ）

◆自然エネルギーを活用した自然共生都市を目指す、大規模な太陽光発電施設の誘致
（臨空メガソーラー：平成27年4月稼働）





減災機能の強化

◆市道空港三軒茶屋線等の嵩上げ工事が進行中　（平成28年度完成予定）

◆海岸防災林復旧事業が進行中
（平成24年より復旧工事）

◆津波減災と津波痕跡を後世に伝える千年希望の丘と園路の整備
（平成25年着工）









東日本大震災から約６年　着実に進む復旧・復興！［亘理町　H28.10末現在］

資料－1－6

東日本大震災から6年が経過し、亘理町では被災した地域において、多重防御による減災機能の強化を柱として、国や県・町、民間事業者などが一体となり、様々な「復興まちづくり」が着実に進捗しています。

安全・安心・元気のあるまち

◆防災集団移転事業、復興公営住宅が整備され順次入居開始　（平成26年10月より順次入居開始）

◆海辺の観光の中心として荒浜地区のにぎわいを取り戻す「わたり温泉鳥の海」の再開、「にぎわい回廊商店街」のオープン
（温泉施設：平成26年10月4日再開、にぎわい回廊：平成27年3月開設）

◆仙台圏への通勤・通学手段となるJR常磐線の再開と常磐自動車道の鳥の海スマートICの開設
（仙台～亘理区間：平成23年4月、浜吉田駅：平成25年3月運行再開
鳥の海スマートIC：平成28年3月供用開始）


復興公営住宅（西木倉住宅）


荒浜にぎわい回廊商店街


わたり温泉鳥の海

亘理ブランド産業の復興

◆約70haを集約した高付加価値型施設園芸としていちご団地の復興　（平成25年度より順次復興）

◆効率的な農業を実現する被災農地7地区のほ場整備や農業近代化施設整備を推進　（平成25年度より随時実施）

◆被災した荷捌き所や漁港施設の復旧により水産業を再開し、漁獲量は徐々に回復。
（平成23年6月水揚げ再開、平成28年4月貯氷庫完成）


いちご団地復興


H28.10.8荒浜漁港水産祭り開催
郷土料理のはらこ飯の試食や水産物販売に長蛇の列
（亘理町広報より）

減災機能の強化

◆町道橋本堀添線等の嵩上げ工事が進行中　（平成30年度完成予定）

◆鳥の海を囲む海岸堤防や漁港内防潮堤を整備中　（平成28年度完成予定）

◆海岸防災林復旧事業が進行中
（平成24年より復旧工事）

◆防災公園や内陸部への避難路整備
（防災公園避難丘：平成28年度完成予定、
避難路：平成25年度着工）


鳥の海堤防嵩上げ

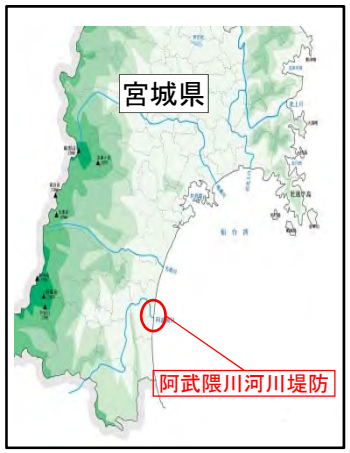

町道嵩上げ



河川堤防高さ相当の津波（約7m）に対する効果

資料－2

〔ご注意〕本資料の整備効果は、今回整備した河川堤防の高さ相当の津波に対する効果であり、東日本大震災クラスの津波に対する効果ではありません。

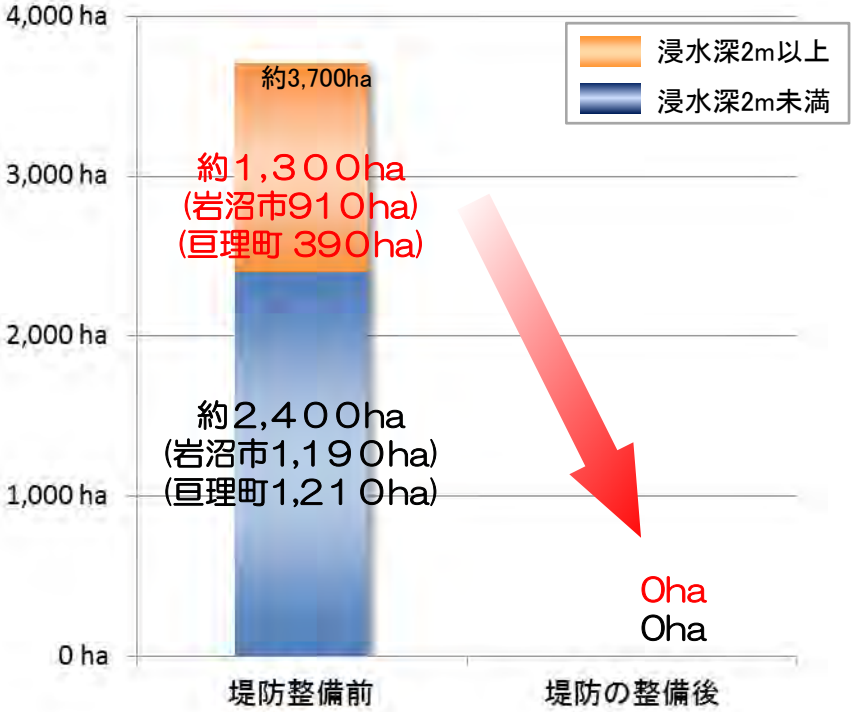


整備効果

◆ 河川堤防高さ相当の津波（約7m※）に対して、整備前に約3,700ha(岩沼市2,100ha、亘理町1,600ha)あった浸水面積を整備後は解消できます。

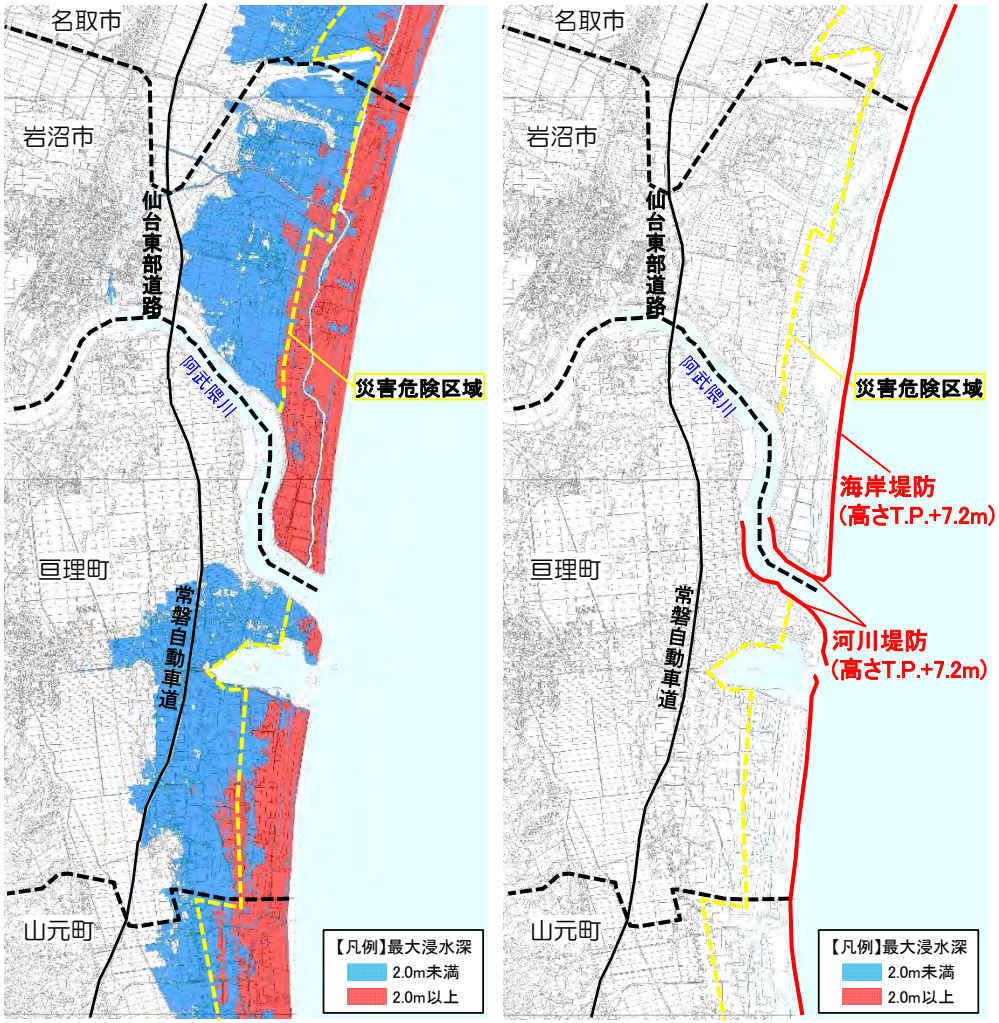
※ 約7mは堤防部での平均海面からの高さです

浸水面積の低減



※仙台湾南部海岸堤防整備も含めたシミュレーション計算結果における岩沼市と亘理町の浸水面積である。

浸水範囲の比較



注１） 浸水範囲は、一定条件の基にシミュレーションを行った計算結果であり、実際の浸水範囲と異なる場合がある。

注２）黄色のラインの海側は多重防御整備後における東日本大震災クラスの巨大津波時の浸水深が2m以上であり、各自治体の条例で災害危険区域に指定され居住用の建築物の建築が認められていない区域である。

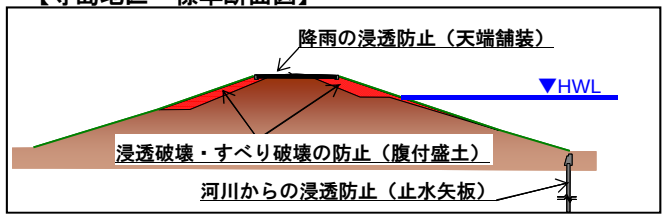
注３）本シミュレーションは今次津波（東北大モデルVer1.2）の断層モデルの地盤変位量を基に、堤防全面で最大津波高がT.P.+7.2mとなるように調整して作成。

河川堤防が果たした役割（緊急避難場所）

資料－３

○ 阿武隈川では堤防の浸透対策（質的強化）を平成17年度から実施中（左岸寺島地区はH22完成）
○ H23.3.11東日本大震災により、海岸沿いは壊滅的な被害を受け、阿武隈川河口部の堤防等も大きな被害を受けたが、寺島地区の堤防は大津波に耐え、堤防上に避難した住民の命が守られた。

【寺島地区　標準断面図】





【質的整備実施前】



【質的整備実施後】　H22完成



【寺島堤防への避難状況】



【左岸１．０ｋ付近の津波越流状況】



■岩沼市長のコメント

阿武隈川左岸の寺島地区（約44戸）の住民は、大津波警報が出た時、近くに高い場所が無いため、阿武隈川の堤防に逃げた。
海からの津波と川を遡上してきた津波の挟み撃ちに合い、もうダメかと諦めたが、越水することもなく、また堤防が崩れることも無く命拾いした。おかげで寺島地区には犠牲者が1人もいない。自衛隊もここの堤防は頑丈だと言っていた。
質的整備をしてもらって本当によかった。